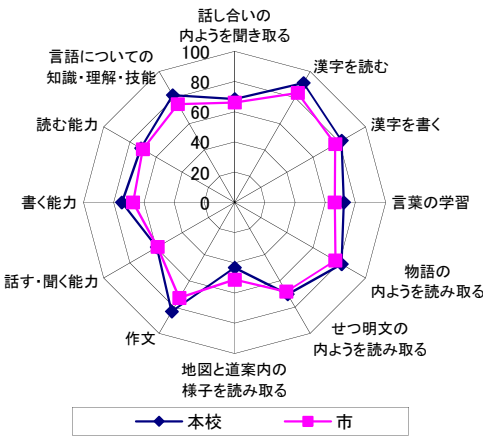


宇都宮市立海道小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	68.5	66.1
	漢字を読む	91.2	83.5
	漢字を書く	81.8	76.9
	言葉の学習	72.3	66.2
	物語の内ようを読み取る	81.8	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	70.3	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	43.2	51.2
	作文	83.4	73.1
観点別	話す・聞く能力	59.5	58.9
	書く能力	74.6	67.2
	読む能力	71.5	70.2
	言語についての知識・理解・技能	81.8	75.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	○宇都宮市と比べ平均正答率が高いが、ほぼ同等である。	・聞き方や話し方の基礎基本を教室前面に掲示し、常に意識させていく。また、朝の会におけるスピーチなどの決められた形での発表の時間を確保するとともに、授業の中に児童同士で話し合う機会を増やす。社会科・総合的な学習等とも関連を図り、インタビューやゲストティチャーの話をうかがう時においても、大切なことはメモを取りながら聞くなどの習慣を身につけさせることで、話す・聞く能力の向上を図る。
漢字	○宇都宮市と比べ平均正答率が高い。読み書きともに、出題された漢字により正答率は大きく異なり100%のものもあれば、75%のものもあった。	・今後も繰り返し漢字の学習を行い、小テスト等を活用して定着を図っていく。また、いろいろな熟語で練習させるようにし、語彙も増やしていくようにさせたい。
言葉の学習	○宇都宮市と比べ平均正答率が高い。漢字辞典の使い方では、市の平均正答率を16%上回ったものの43%と低い。	・日常的に国語辞典同様漢字辞典についても活用機会を設けていく。故事成語や慣用句については、意図的に宿題に出したり、授業の中で取り上げていく。
物語の内ようを読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率が高い。	・朝の読書タイムや読み聞かせを活用したり、国語の学習の中で本を紹介し、物語に触れる機会を多くしながら、登場人物の気持ちや場面情景などの読解力の向上を図る。 図書室利用の少ない児童に関しては、個人的に司書や担任から声をかけ、興味のある図書を薦めていく。
せつ明文の内ようを読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率が高い。要点の読み取りは、97.3%と高かったが、細かい点の読み取りは56.8%で市の平均正答率とほぼ同じであった。	・接続後に関しては、宿題プリントなどで取り上げ、理解を深めさせるとともに、短作文などで活用を広げていく。 ・筆者の主張を読み取る根拠となる言葉を押さえながら、段落の要点をまとめたり、段落相互の関係を接続語に着目して考えさせたりしながら、説明的文章の読解力の向上を図る。
地図と道案内の様子を読み取る	○宇都宮市と比べ平均正答率は下回り、問題の中で1番低い正答率であった。	・地図を読み取ったり、適切な言葉づかいで説明したりといった経験が不足していると思われるので、日常生活の中で意図的な指示をしたり、説明させる場面を設定したりするようにしていく。
作文	○宇都宮市と比べ平均正答率が高い。書きたいことの中心を明確にしたり、理由を挙げて書くことが85%以上の正答率であった。	・指定された長さで書いたり、段落を意識して改行したりすることが苦手な児童が多いので、意図的に書かせることを取り入れていく。各自が推敲できるように、推敲のスキルも引き続き指導していく。